

沖縄県消防指令センター  
全体更新等整備事業

審査講評

2024年（令和6年）5月  
うるま市



沖縄県消防指令センター全体更新等整備事業 DB 事業者選定委員会（以下、「選定委員会」という。）は、沖縄県消防指令センター全体更新等整備事業（以下、「本事業」という。）に関して、優先交渉権者選定基準に基づき提案内容の審査を行い、優先交渉権者に選定しましたので、審査結果及び審査講評をここに報告します。

令和6年5月10日

沖縄県消防指令センター全体更新等整備事業 DB 事業者選定委員会

## I 選定委員会の構成、役割及び開催経過

### 1 選定委員会の構成

選定委員会の構成委員は、非公表とする。

### 2 選定委員会の役割

選定委員会は、次の事項を所掌する。

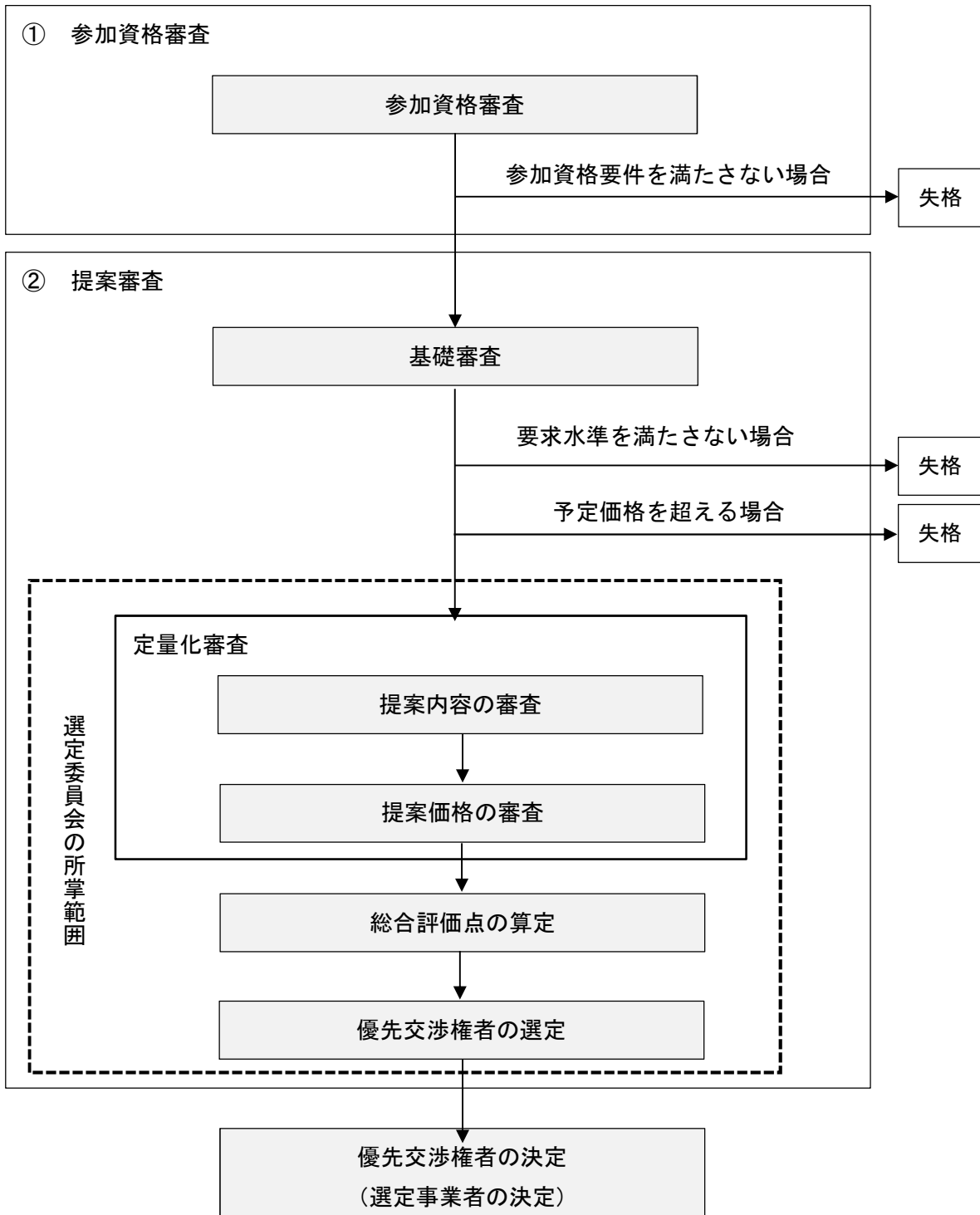
- (1) 事業者の募集、評価及び選定に関すること。
- (2) 事業者による提案書等の審査及び選定に関すること。
- (3) その他事業の推進に関し必要なこと。

### 3 選定委員会の開催経過

回数	日程	主な議題等
第1回	2023（令和5）年 12月20日（水）	選定委員会の設置目的 選定委員会のスケジュールについて 事業概要の説明 実施方針・要求水準書（案）について（審議）
第2回	2024（令和6）年 1月25日（木）	説明会及び現地見学会の開催報告 事業者サウンディングの実施報告 募集要項・要求水準書について（審議） 優先交渉権者選定基準・様式集について（審議） 契約書（案）・協定書（案）について（審議） 第3回・第4回選定委員会のスケジュールについて
第3回	2024（令和6）年 4月17日（水）	事業進捗報告 基礎審査結果報告 審査・評価の進め方について 提案内容調書の確認及び意見交換（審議） ヒアリング時の質問事項について（審議） 第4回選定委員会の進め方・スケジュールについて
第4回	2024（令和6）年 4月22日（月）	プレゼン・ヒアリング時の注意事項 プレゼンテーション・ヒアリング 審査・審査結果集計 審査結果に関する意見交換（審議） 優先交渉権者の決定・選定事業者の決定

## II 審査の流れ

本事業の募集及び選定は、競争性及び公平性に配慮した上で、提案内容及び提案価格を総合的に評価して選定事業者を決定する、公募型プロポーザル方式に基づき、次の手順で実施した。



### Ⅲ 審査結果

#### 1 参加資格審査

2024（令和6）年3月1日に提出された参加資格審査書類を基に、「募集要項 Ⅱ 2 応募者の備えるべき参加資格要件」に記載する参加資格要件を満たしていることを確認し、2024（令和6）年3月6日付けで参加資格審査結果（参加資格があるものと認めたこと。）を応募者の代表企業に通知した。

なお、参加資格審査結果の通知時に、応募者番号として「グループ01」を応募者に付与した。

#### ■ 応募者構成員一覧

応募者	参加区分	企業名	役割
グループ01	構成員	有限会社クリエイト技研	建設（代表企業）
		有限会社アトリエ・門口	設計・工事監理
		有限会社嶺建設	建設
		株式会社シンコウハウス工業	建設
		株式会社電協エンジニアリング	電気設備
		有限会社糸洲電気工事社	電気設備
		マサ友電設株式会社	電気設備
		株式会社大川工業	機械設備
		有限会社翔設備	機械設備
		有限会社山商	機械設備
		有限会社新垣設備	機械設備

## 2 提案審査

### (1) 提案審査書類及び提案価格の確認

市は、2024（令和6）年4月5日に提案審査書類の受付を行い、応募者に求めた提案審査書類がすべて揃っていることを確認した。さらに提出された提案価格書に記載された提案価格が、予定価格の範囲内であることを確認した。

### (2) 基礎審査

市は、応募者の提案審査書類について、「優先交渉権者選定基準 IV 1 基礎審査」に記載する基礎審査項目を満たしていることを確認した。

### (3) 提案内容に関する審査

「優先交渉権者選定基準 IV 3 定量化審査」に基づき、選定委員会による提案内容の審査を行った。

審査にあたっては、参加資格審査結果通知時に設定した応募者番号（「グループ01」）により、企業名等を明らかにせず、プレゼンテーション及びヒアリングを実施した。

また、提案内容に関する事項の評価においては、「優先交渉権者選定基準 別紙 提案内容の評価の項目」に示す評価視点の項目ごとに各委員が審査を行い、以下に示す5段階評価により得点を付与した。

#### ■提案審査に関する事項の得点化方法

評価	判断基準	得点化方法
A	当該審査項目について特に秀でて優れている	各項目の配点×1.00
B	当該審査項目について秀でて優れている	各項目の配点×0.75
C	当該審査項目について優れている	各項目の配点×0.50
D	当該審査項目についてわずかに優れている点を認める	各項目の配点×0.25
E	当該審査項目について優れている点が認められない	各項目の配点×0.00

※得点は、小数点第3位以下を四捨五入し、小数点第2位まで取り扱うこととする。

ただし、選定委員会による審査の結果、提案内容審査点の合計が90点満点中45点を下回った場合、又は提案内容のうち、当該審査項目について優れている点が認められない（E評価）がある場合は、応募者を順位の決定対象から除外することとした。

■提案内容審査結果

審査項目	配点	グループ 01
1) 事業計画	26 点	17.50 点
① 実施体制	8 点	5.00 点
② 工程計画	10 点	7.50 点
③ リスク対応策・セルフモニタリング	8 点	5.00 点
2) 施設整備計画	48 点	25.83 点
① 全体景観・施設配置・動線計画	8 点	4.33 点
② 施設整備計画	16 点	8.00 点
③ ユニバーサルデザイン	4 点	2.00 点
④ 事業継続 (BCP) 計画	16 点	9.33 点
⑤ 環境への配慮	4 点	2.17 点
3) その他に関する提案	12 点	7.33 点
① 地域への波及効果	10 点	6.25 点
② 独自の提案 (任意)	2 点	1.08 点
4) プレゼンテーション及びヒアリング	4 点	2.50 点
合計	90 点	53.17 点

(3) 提案価格に関する審査

提案価格審査点の算出方法は、「優先交渉権者選定基準 IV 3 (4) 提案価格に関する事項の得点化方法」に基づき、提案価格を以下の方法にて得点化した。

■提案価格に関する事項の得点化方法

$\text{提案価格審査点} = 10 \text{ 点} \times \frac{\text{全提案中最も低い提案価格}}{\text{当該応募者による提案価格}}$
--

※得点は、小数点第3位以下を四捨五入し、小数点第2位まで取り扱うこととする。

■提案価格審査結果

	グループ 01
提案価格	3,140,000,000 円
計算式	$10 \times (3,140,000,000 / 3,140,000,000)$
価格審査点	10 点



#### (4) 総合評価

提案内容審査点に提案価格審査点を加算し、総合評価点とした。

##### ■総合評価点の算出方法

$\text{総合評価点} = \text{提案内容審査点} + \text{提案価格審査点}$
--

##### ■総合評価結果

	配点	グループ 01
提案内容審査点	90 点	53.17 点
提案価格審査点	10 点	10 点
<b>総合評価点</b>	<b>100 点</b>	<b>63.17 点</b>

以上より、グループ 01 を優先交渉権者として選定した。

### 3 審査の講評

#### (1) 各評価項目の講評

評価項目	グループ 01 審査講評
1) 事業計画	<ul style="list-style-type: none"><li>・事業期間を通じて円滑な事業実施に向け、ノウハウや資格を有した企業・技術者の適切な人員配置及び各企業の責任分担の明確化について、優れた提案が示された。</li><li>・令和8年4月1日供用開始厳守に向けた工程及び手法について、優れた提案が示された。</li><li>・品質向上と要求水準の達成に向けた実効性のあるセルフモニタリング方法や本事業の特徴を踏まえたリスク対応策について、優れた提案が示された。</li></ul>
2) 施設整備計画	<ul style="list-style-type: none"><li>・周辺環境や景観等を踏まえ、機能的かつ効率的な施設配置計画及び職員及び来庁者の利便性・安全性に配慮した動線計画について、優れた提案が示された。</li><li>・ライフラインが寸断された非常時においても指令業務を継続するための施設整備計画について、優れた提案が示された。</li><li>・供用期間中の環境負荷の低減及び施工期間中の近隣等への悪影響の配慮について、優れた提案が示された。</li></ul>
3) その他に関する提案	<ul style="list-style-type: none"><li>・設計・建設工事に関わる市内事業者及び備品調達における市内事業者の積極的な活用、県産品や地域資材を積極的・効果的な活用について、優れた提案が示された。</li><li>・本事業の目的及び特徴をよく理解し、要求水準に定めた項目以外において、優れた提案が示された。</li></ul>

## (2) 審査の総評

本事業は、沖縄県消防指令センター及びうるま市消防本部の設計・建設を併せて行うことを目的とするものである。消防指令センターは嘉手納町比謝川行政事務組合ニライ消防本部にて平成 28 年 4 月から今日に至るまで運用を行っているが、現在設置されている指令センター機器の耐用年数が 7～10 年とされており、現指令センター内では更新に係る十分なスペースの確保が難しいため、本市へ新たに消防指令センターを整備し、令和 8 年 4 月 1 日供用開始を目指している。本市は、早急に事業を進めるにあたり、本事業を設計段階から合理的な施工計画を検討し、施工技術を設計に反映させることのできる設計施工一括発注（デザインビルド（以下「DB」という。））方式により実施することとした。以上より、本市では、DB 方式を採用することにより、品質の向上、事業費の削減など効率的で合理的な設計・施工を実現するとともに、事業者の創意工夫により効果的に諸課題の解消が図られることを期待されたものである。

はじめに、優先交渉権者となった「消防指令センター異業種特定建設工事共同企業体」においては、公募内容を踏まえ、限られた期間内で貴重な時間を費やし提案書を作成した努力に対して、敬意を表すとともに感謝を申し上げたい。

今後、本事業がよりよいものとなるよう、要求水準等に示される市の要求事項を念頭に、提案された内容、ヒアリングで示した内容を確実に履行し、市と真摯に協議を重ねていただきたい。

また、選定委員会において、次の指摘事項が挙げられたことから、調整を重ねながら工夫し、配慮し、誠実に対応するよう要望する。

### ■選定委員会からの要望事項

- 提案した工程が確実に履行されるよう工程管理に努めること。
- 提案した施設の外壁のカーテンウォールや 3 階のテラス等について、品質向上と事業費削減に配慮しながら再度市と調整しながら検討すること。